

(2015 年 12 月 1 日修正)

第 10 章 気候変動の検出と原因特定:地球全体から地域まで 41 ページ 気候システムの特性 第 1
パラグラフ 15 行目

(誤)...、平衡気候感度が 1°C **以下**である **可能性が極めて低い**ことについて **高い確信度**があり、...

(正)...、平衡気候感度が 1°C **未満**である **可能性が極めて低い**ことについて **高い確信度**があり、...

(2015 年 7 月 1 日修正)

第 2 章 観測:大気と地表面 8 ページ 水循環 第 3 パラグラフ 2 行目

(誤)...、**世界**規模の雲の変動と変化傾向の観測においては...

(正)...、**地球**規模の雲の変動と変化傾向の観測においては...

第 2 章 観測:大気と地表面 9 ページ 極端現象 第 3 パラグラフ 1 行目

(誤)20 世紀半ば以降、**世界**規模で観測されている...

(正)20 世紀半ば以降、**地球**規模で観測されている...

第 3 章 観測:海洋 11 ページ 水温と貯熱量の変化 第 2 パラグラフ 7 行目

(誤)...。水深 3000 m 以深の昇温は、**南極海**で最も大きくなっている。

(正)...。水深 3000 m 以深の昇温は、**南大洋**^[訳注 1]で最も大きくなっている。

第 3 章 観測:海洋 11 ページ 塩分と淡水量の変化 第 1 パラグラフ 9 行目

(誤)...、太平洋と**南極海**は塩分が低下している。...

(正)...、太平洋と**南大洋**は塩分が低下している。...

第 3 章 観測:海洋 12 ページ 大気-海洋間フラックスと波高の変化 第 2 パラグラフ 1 行目

(誤)北大西洋、熱帯太平洋、**南極海**において、...

(正)北大西洋、熱帯太平洋、**南大洋**において、...

第 3 章 観測:海洋 12 ページ 大気-海洋間フラックスと波高の変化 第 2 パラグラフ 7 行目

(誤)...最も強固なのは**南極海**についてであり、**南極海**では...

(正)...最も強固なのは**南大洋**についてであり、**南大洋**では...

第 3 章 観測:海洋 12 ページ 大気-海洋間フラックスと波高の変化 第 3 パラグラフ 4 行目

(誤)... **中程度の確信度**で増大している。**増加は冬季に典型的で、10 年当たり最大 20 cm の増加傾向がみられる。**

(正)... **中程度の確信度**で増大しており、**典型的な冬季の変化傾向は 10 年当たり最大 20 cm であった。**

第 3 章 観測:海洋 12 ページ 水塊と循環の変化 第 1 パラグラフ 16 行目

(誤)...昇温して縮小し、**南極海**のインド洋及び太平洋側では...

(正)...昇温して縮小し、**南大洋**のインド洋及び太平洋側では...

第3章 観測:海洋 13 ページ 統合のタイトル

(誤)統合

(正)統合(まとめ)

第3章 観測:大気と地表面 13 ページ 訳注

第3章の訳注に【訳注1】を追加し、以下訳注の番号を振りなおす。

【訳注1】原文では“the Southern Ocean”。南極海(“the Antarctic Ocean”)とも呼ばれる。

【訳注2】1 TW(テラワット)= 1×10^{12} W = 1 兆ワット。

【訳注3】ハインドキャストとも呼ばれる。過去の事例をモデルによって再び予報すること。

(参考:http://www.metsoc.jp/tenki/pdf/2012/2012_06_0493.pdf)

【訳注4】1 PgC = 1 GtC(炭素換算で1 ギガトン=10 億トン=1000 兆グラム)。二酸化炭素換算では36 億 6700 万トンに相当する。

第4章 観測:雪氷圏 15 ページ 海氷 第5パラグラフ 1行目

(誤)南極域の年平均海氷面積は1979年から...

(正)南極域の年平均海氷面積は、1979年から...

第4章 観測:雪氷圏 15 ページ 海氷 第5パラグラフ 6行目

(誤)...地域差があり、ある地域では面積が増加し、ある地域では減少していることの確信度は高い。

(正)...地域差があり、面積が増加している地域もあれば、減少している地域もあることの確信度は高い。

第5章 古気候の記録から得られる情報 19 ページ 温室効果ガスの変動と過去の気候応答 第5パラグラフ 3行目

(誤)...水準を大きく上回っていたことの確信度は中程度である。

(正)...水準を大きく上回っていた。

第5章 古気候の記録から得られる情報 20 ページ 間氷期の気候変動という観点での、観測されている最近の気候変動 第5パラグラフ 10行目

(誤)...1200年にわたる数十年間規模の気温変化を再現しており、...

(正)...1200年にわたる数十年規模の気温変化を再現しており、...

第5章 古気候の記録から得られる情報 20 ページ 間氷期の気候変動という観点での、観測されている最近の気候変動 第6パラグラフ 1行目

(誤)大陸規模の地上気温の復元によると、中世気候異常(950~1250年)の数十年間に、...

(正)大陸規模の地上気温の復元によると、中世気候異常期(950~1250年)の数十年間に、...

第5章 古気候の記録から得られる情報 20 ページ 間氷期の気候変動という観点での、観測されている最近の気候変動 第6パラグラフ 4行目

(誤)...これらの地域的温暖期間は、...

(正)...これらの地域的に温暖な期間は、...

第5章 古気候の記録から得られる情報 20 ページ 間氷期の気候変動という観点での、観測されて

いる最近の気候変動 第 6 パラグラフ 9 行目

(誤)...、内部変動も、**中世気候異常**と小氷期(1450~1850 年)...

(正)...、内部変動も、**中世気候異常期**と小氷期(1450~1850 年)...

第 5 章 古気候の記録から得られる情報 20 ページ 間氷期の気候変動という観点での、観測されている最近の気候変動 第 7 パラグラフ 4 行目

(誤)...。小氷期(1450~1850 年)は**中世気候異常**(950~1250 年)に比べて、...

(正)...。小氷期(1450~1850 年)は**中世気候異常期**(950~1250 年)に比べて、...

第 5 章 古気候の記録から得られる情報 21 ページ 急激な気候変動と不可逆性 第 4 パラグラフ 4 行目

(誤)...西南極氷床は**南極海**表層の温暖化に...

(正)...西南極氷床は**南大洋**^[訳注]表層の温暖化に...

第 5 章 古気候の記録から得られる情報 21 ページ 訳注

第 5 章の訳注に以下を追加する。

【訳注】 原文では“the Southern Ocean”。南極海(“the Antarctic Ocean”)とも呼ばれる。

第 6 章 炭素循環及びその他の生物地球化学的循環 24 ページ 将来予測 第 2 パラグラフ 12 行目

(誤)...。海洋の温暖化と循環の変化は**南極海**と北大西洋における...

(正)...。海洋の温暖化と循環の変化は**南大洋**^[訳注 5]と北大西洋における...

第 6 章 炭素循環及びその他の生物地球化学的循環 25 ページ 将来予測 第 8 パラグラフ 14 行目

(誤)...10 年以内に、**南極海**の一部では...

(正)...10 年以内に、**南大洋**の一部では...

第 6 章 炭素循環及びその他の生物地球化学的循環 25 ページ 将来予測 第 9 パラグラフ 6 行目

(誤)...水域の量が将来どう**発達**するのかについては、...

(正)...水域の量が将来どう**増大**するのかについては、...

第 6 章 炭素循環及びその他の生物地球化学的循環 25 ページ ジオエンジニアリングの手法と炭素循環 第 1 パラグラフ 2 行目

(誤)...二酸化炭素除去(CDR)**法**と呼ばれている。...

(正)...二酸化炭素除去(CDR)**手法**と呼ばれている。...

第 6 章 炭素循環及びその他の生物地球化学的循環 26 ページ ジオエンジニアリングの手法と炭素循環 第 2 パラグラフ 1 行目

(誤)CDR **法**が炭素及びその他の...

(正)CDR **手法**が炭素及びその他の...

第 6 章 炭素循環及びその他の生物地球化学的循環 26 ページ ジオエンジニアリングの手法と炭素

循環 第2パラグラフ 2行目

(誤)...。CDR **法**が気候及び環境に...

(正)...。CDR **手法**が気候及び環境に...

第6章 炭素循環及びその他の生物地球化学的循環 26ページ ジオエンジニアリングの手法と炭素循環 第2パラグラフ 6行目

(誤)...。太陽放射管理(SRM) **法**(第7章)は、...

(正)...。太陽放射管理(SRM) **手法**(第7章)は、...

第6章 炭素循環及びその他の生物地球化学的循環 26ページ 訳注

第6章の訳注に【訳注5】を追加し、以下訳注の番号を振りなおす。

【訳注5】 原文では“the Southern Ocean”。南極海(“the Antarctic Ocean”)とも呼ばれる。

【訳注6】 アラゴナイト: あられ石。炭酸カルシウムの結晶形の一つ。様々な海洋生物がこれにより骨格や殻を形成している。

【訳注7】 ベンチレーション: 海面付近の海水が海洋内部へ運ばれる過程のひとつ。

【訳注8】 ほぼ無酸素。

第7章 雲とエアロゾル 27ページ 理解の進展 第4パラグラフ 2行目

(誤)...迅速な**調整**メカニズム(大気及び地表面の急速な変化を通じて...

(正)...迅速な**調節**メカニズム(大気及び地表面の急速な変化を通じて...

第7章 雲とエアロゾル 27ページ 理解の進展 第4パラグラフ 7行目

(誤)...、迅速な**調整**メカニズムも含む実効放射強制力(ERF)...

(正)...、迅速な**調節**メカニズムも含む実効放射強制力(ERF)...

第7章 雲とエアロゾル 27ページ 理解の進展 第6パラグラフ 4行目

(誤)...地球規模・地域規模での**調整**も受ける。...

(正)...地球規模・地域規模での**調節**も受ける。...

第7章 雲とエアロゾル 28ページ エアロゾルと雲に起因する気候強制力の定量化 第1パラグラフ 1行目

(誤)迅速な**調整**メカニズムを考慮に入れた...

(正)迅速な**調節**メカニズムを考慮に入れた...

第7章 雲とエアロゾル 28ページ エアロゾルと雲に起因する気候強制力の定量化 第1パラグラフ 6行目

(誤)...。**調整**メカニズムを考慮しない...

(正)...。**調節**メカニズムを考慮しない...

第7章 雲とエアロゾル 28ページ エアロゾルと雲に起因する気候強制力の定量化 第1パラグラフ 14行目

(誤)...。化石燃料とバイオ燃料からの排出⁴【訳注2】は、硫酸塩エアロゾル...

(正)...。化石燃料とバイオ燃料からの排出⁴【正誤表参照】は、硫酸塩エアロゾル...

第7章 雲とエアロゾル 28 ページ エアロゾルと雲に起因する気候強制力の定量化 第1パラグラフ
23 行目

(誤)...雲の迅速な調整メカニズムの存在については...

(正)...雲の迅速な調節メカニズムの存在については...

第7章 雲とエアロゾル 28 ページ エアロゾルと雲に起因する気候強制力の定量化 第2パラグラフ
6 行目

(誤)...迅速な調整メカニズムを含んでいる。...

(正)...迅速な調節メカニズムを含んでいる。...

第7章 雲とエアロゾル 29 ページ 太陽放射管理法を用いたジオエンジニアリングのタイトル

(誤)太陽放射管理法を用いたジオエンジニアリング

(正)太陽放射管理手法を用いたジオエンジニアリング

第7章 雲とエアロゾル 29 ページ 太陽放射管理手法を用いたジオエンジニアリング 第1パラグラフ
2 行目

(誤)...、太陽放射管理(SRM)法は世界全体の気温を...

(正)...、太陽放射管理(SRM)手法は世界全体の気温を...

第7章 雲とエアロゾル 29 ページ 太陽放射管理手法を用いたジオエンジニアリング 第1パラグラフ
6 行目

(誤)...。SRM法は実施も試験も...

(正)...。SRM手法は実施も試験も...

第7章 雲とエアロゾル 29 ページ 太陽放射管理手法を用いたジオエンジニアリング 第1パラグラフ
19 行目

(誤)...。他のSRM法については...

(正)...。他のSRM手法については...

第7章 雲とエアロゾル 29 ページ 訳注

【訳注2】を削除し、【訳注1】を【訳注】に差し替える。

第8章 人為起源及び自然起源の放射強制力 31 ページ 概要 第2パラグラフ 11 行目

(誤)...。こうした調整を組み込むことで、...

(正)...。こうした調節を組み込むことで、...

第8章 人為起源及び自然起源の放射強制力 31 ページ 概要 第2パラグラフ 16 行目

(誤)...こうした雲の変化は迅速な調整メカニズムであり、...

(正)...こうした雲の変化は迅速な調節メカニズムであり、...

第8章 人為起源及び自然起源の放射強制力 31 ページ 工業化時代の人為起源放射強制力 第3
パラグラフ 31 行目

(誤)...二酸化炭素以外の**複合**放射強制力の増加率...
(正)...二酸化炭素以外**による**放射強制力の増加率...

第 8 章 人為起源及び自然起源の放射強制力 31 ページ 脚注 1 1 行目

(誤)...。放射平衡に対して再**調整**する成層圏温度は...
(正)...。放射平衡に対して再**調節**する成層圏温度は...

第 8 章 人為起源及び自然起源の放射強制力 31 ページ 脚注 2 1 行目

(誤)...考慮し**調整**するが、世界平均地上気温又は海洋及び海水条件は**調整**せずに計算...
(正)...考慮し**調節**するが、世界平均地上気温又は海洋及び海水条件は**調節**せずに計算...

第 8 章 人為起源及び自然起源の放射強制力 32 ページ 脚注 5 1 行目

(誤)...エーロゾルへの迅速な**調整**メカニズムの部分...
(正)...エーロゾルへの迅速な**調節**メカニズムの部分...

第 8 章 人為起源及び自然起源の放射強制力 33 ページ 将来の人為起源の放射強制力と排出指標 第 2 パラグラフ 9 行目

(誤)...**全球**平均地上気温に与える変化と...
(正)...**世界**平均地上気温に与える変化と...

第 9 章 気候モデルの評価 35 ページ 概要 第 3 パラグラフ 7 行目

(誤)...。1990～2012 年のモデル...
(正)...。1998～2012 年のモデル...

第 9 章 気候モデルの評価 35 ページ 概要 第 6 パラグラフ 1 行目

(誤)...一般的特徴を**捕捉**することが...
(正)...一般的特徴を**捉**えることが...

第 9 章 気候モデルの評価 37 ページ 概要 第 18 パラグラフ 11 行目

(誤)...、モデルでは**地域**から地球規模にわたり...
(正)...、モデルでは**地域規模**から地球規模にわたり...

第 10 章 気候変動の検出と原因特定:地球全体から地域まで 39 ページ 大気の気温 第 4 パラグラフ 10 行目

(誤)...。**この評価を行うことに、モデルを使った内部変動性のシミュレーションは**適していると評価されている。
(正)...。**モデルを使った内部変動性のシミュレーションは、この評価を行うことに**適していると評価されている。

第 10 章 気候変動の検出と原因特定:地球全体から地域まで 40 ページ 海洋酸性化と酸素の変化 第 1 パラグラフ 1 行目

(誤)海洋による**人為的起源**の二酸化炭素の吸収が、...
(正)海洋による**人為起源**の二酸化炭素の吸収が、...

第 10 章 気候変動の検出と原因特定:地球全体から地域まで 40 ページ 海洋酸性化と酸素の変化
第 1 パラグラフ 5 行目

(誤)...海洋中の溶存酸素の地球規模的減少パターンについて、...

(正)...海洋中の溶存酸素の地球規模での減少パターンについて、...

第 10 章 気候変動の検出と原因特定:地球全体から地域まで 40 ページ 雪氷圏 第 1 パラグラフ 5
行目

(誤)...。1979 年以降の南極海の海氷面積...

(正)...。1979 年以降の南極域の海氷面積...

第 10 章 気候変動の検出と原因特定:地球全体から地域まで 41 ページ 極端な気候現象 第 1 パラ
グラフ 6 行目

(誤)...世界規模で観測されていることに人為起源の...

(正)...地球規模で観測されていることに人為起源の...

第 11 章 近未来の気候変動:予測と予測可能性 44 ページ 予測された近未来気温変化 第 1 パラ
グラフ 8 行目

(誤)...その後数年間で回復することになる。...

(正)...その後数年間で回復するだろう。...

第 11 章 近未来の気候変動:予測と予測可能性 45 ページ 予測された極端現象の変化 第 3 パラ
グラフ 5 行目

(誤)...熱帯低気圧活動について発表されている予測間に差異があること、...

(正)...熱帯低気圧活動について発表されている予測間に差があること、...

第 11 章 近未来の気候変動:予測と予測可能性 45 ページ 予測された大気質の変化 第 2 パラグラフ
フ 2 行目

(誤)...局所的に高い地上気温は、地域規模のオゾンと PM_{2.5} の最大濃度を増加させるような、化学過程のフィードバックや...

(正)...局所的に高い地上気温は、オゾンと PM_{2.5} の最大濃度を増加させるような地域規模の化学過程のフィードバックや...

第 12 章 長期的気候変動:予測、不可避性、不可逆性 47 ページ 気温変化の予測 第 2 パラグラフ
8 行目

(誤)...。北大西洋と南極海においては、

(正)...。北大西洋と南大洋^{【訳注 2】}においては、

第 12 章 長期的気候変動:予測、不可避性、不可逆性 48 ページ 水循環の変化 第 3 パラグラフ
10 行目

(誤)...、地域規模から世界規模で予測されている...

(正)...、地域規模から地球規模で予測されている...

第 12 章 長期的気候変動:予測、不可避性、不可逆性 48 ページ 水循環の変化 第 3 パラグラフ
15 行目

(誤)...アフリカ南部地域における土壌水分の**乾燥**は、...

(正)...アフリカ南部地域における土壌水分の**減少**は、...

第 12 章 長期的気候変動:予測、不可避性、不可逆性 49 ページ 海洋の変化 第 1 パラグラフ 3
行目

(誤)...より深い部分では、**南極海**で最も顕著な昇温が予測されている。...

(正)...より深い部分では、**南大洋**で最も顕著な昇温が予測されている。...

第 12 章 長期的気候変動:予測、不可避性、不可逆性 50 ページ 訳注

第 12 章の訳注に、【訳注 2】を追加し、以下訳注の番号を振りなおす。

【訳注 2】原文では“the Southern Ocean”。南極海(“the Antarctic Ocean”)とも呼ばれる。

【訳注 3】1 PgC = 1 GtC(炭素換算で 1 ギガトン=10 億トン=1000 兆グラム)。二酸化炭素換算では 36 億 6700 万トンに相当する。

第 13 章 海面水位の変化 53 ページ 21 世紀の海面水位の極端現象と波浪の予測 第 2 パラグラフ
1 行目

(誤)風速が速くなる結果、**南極海**で有義波高の年平均値が上昇する**可能性が高い(中程度の確信度)**。**南極海**で発生したうねりは、...

(正)風速が速くなる結果、**南大洋**^{【訳注】}で有義波高の年平均値が上昇する**可能性が高い(中程度の確信度)**。**南大洋**で発生したうねりは、...

第 13 章 海面水位の変化 53 ページ 訳注

第 13 章の訳注に以下を追加する。

【訳注】原文では“the Southern Ocean”。南極海(“the Antarctic Ocean”)とも呼ばれる。

第 14 章 気候現象及びそれらの将来の地域的な気候変動との関連性 55 ページ 概要 第 2 パラグラフ
2 行目

(誤)...、**世界**規模の影響の変化に対して...

(正)...、**地球**規模の影響の変化に対して...

第 14 章 気候現象及びそれらの将来の地域的な気候変動との関連性 56 ページ 熱帯現象 第 3 パラグラフ
2 行目

(誤)...将来変化の予測については、**モデル**のこの現象の再現能力が低いことと、**マッデン-ジュリアン振動が海面水温上昇の分布に敏感に応答することのため、確信度は低い。**...

(正)...将来変化の予測については、この現象の**モデルによる再現性が乏しく、海面水温の昇温パターンに敏感であるため、確信度は低い。**...

第 14 章 気候現象及びそれらの将来の地域的な気候変動との関連性 57 ページ PSA パターン 第 1
パラグラフ 4 行目

(誤)インド洋・太平洋赤道域における基本的な物理的メカニズム及び予測される海面水温についての理解によれば、南半球夏季の平均的な大気循環における将来の変化は**この海面水温パターンを**

投影し、それによって南アメリカ収束帯と南アメリカ南東部における降水量に影響を与えることの確信度は中程度である。

- (正) インド洋・太平洋赤道域における基本的な物理的メカニズム及び予測される海面水温についての理解によれば、南半球夏季の平均的な大気循環における将来の変化はこの太平洋－南アメリカパターンとなり、それゆえ南アメリカ収束帯と南アメリカ南東部における降水量に影響を与えると予測されることの確信度は中程度である。